



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日
東

上場会社名 NCS&A株式会社 上場取引所
コード番号 9709 URL http://ncsa.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松木 謙吾
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員常務 (氏名) 山口 満之 (TEL) (06)6946-1991
四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	12,988	△2.2	△171	—	△60	—	△78	—
28年3月期第3四半期	13,285	17.1	△210	—	△158	—	△234	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △29百万円(—%) 28年3月期第3四半期 △193百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△3.96	—
28年3月期第3四半期	△10.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	15,947	9,519	59.7
28年3月期	17,228	10,351	60.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 9,519百万円 28年3月期 10,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	1.5	400	815.1	400	190.4	300	126.1	14.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	20,000,000株	28年3月期	21,815,104株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,342,051株	28年3月期	491,279株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	19,926,249株	28年3月期3Q	21,398,431株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に改善の遅れはあるものの、雇用情勢は改善し、個人消費の持ち直しがみられるなど、緩やかな回復基調が続いております。一方、新興国経済の減速、イギリスのEU離脱問題、アメリカ大統領交代後の海外経済の不確実性等、先行きに不透明な要素が見られました。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、国内景況感の改善にともない金融分野を中心にIT投資は底堅く推移しており、また、ビッグデータ、IoT、AI、Fintech等の新しい技術を用いたサービスの登場により、今後ますますIT利活用の高度化・多様化が進展し、中長期的にもITに対する需要は増加する可能性が高いと予想されております。

このような環境のもと、当社グループは、安定した収益基盤の確立に向け、プライムビジネス（エンドユーザーからの直契約ビジネス）とストックビジネス（継続的にサービスを提供するビジネス）の強化に取り組んでまいりました。

プライムビジネスにつきましては、好調なホテル事業の伸長に加え、当社独自のマイグレーションツール「AIRS（エアーズ）」を活用した生命保険会社向けマイグレーションをはじめとする金融分野の案件拡大に注力するとともに、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマートが開発したシステム共通基盤「intra-mart（イントラマート）」を利用した民間企業向けシステム開発の導入拡大に努めました。

ストックビジネスにつきましては、システム資産可視化ソリューション「REVERSE PLANET（リバースプラネット）」が大手製鉄会社や複数の金融機関に新たに採用されるなど、更なる導入拡大を図るとともに、資材調達サイト「WRSH（ウルシュ）」をはじめとするクラウドサービスの提供拡大に注力いたしました。加えて、中堅企業向けに開発した可視化ソリューション「REVERSE COMET i（リバースコメットアイ）」を活用した新たなフルアウトソーシングサービスの提供への取り組みを推し進めております。

また、競争力強化に向けた主力製品及び成長・収益期待分野への投資を積極的に行うとともに、コスト構造改革として平成28年4月より横断的な共通業務を担う専任部門を新設し、システム開発作業の効率化と外注費の抑制に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は129億88百万円（前年同四半期は売上高132億85百万円）となりました。

利益面につきましては、生産性向上及び一般管理費の削減に取り組んでおりますが、一部の不採算プロジェクトの影響などにより、営業損失は1億71百万円（前年同四半期は営業損失2億10百万円）となりました。また、有価証券評価益などの計上により、経常損失は60百万円（前年同四半期は経常損失1億58百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は78百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億34百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は159億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億80百万円減少いたしました。流動資産は122億77百万円となり、16億47百万円減少いたしました。主な要因は、仕掛品の増加(4億65百万円)、受取手形及び売掛金の減少(12億71百万円)、有価証券の減少(4億29百万円)、現金及び預金の減少(3億92百万円)等であります。固定資産は36億70百万円となり、3億66百万円増加いたしました。主な要因は、無形固定資産の増加(1億69百万円)、投資有価証券の増加(1億51百万円)等であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は64億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億48百万円減少いたしました。流動負債は29億85百万円となり、5億77百万円減少いたしました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少(3億35百万円)、賞与引当金の減少(1億38百万円)、未払金の減少(1億37百万円)等であります。固定負債は34億43百万円となり、1億28百万円増加いたしました。主な要因は、退職給付に係る負債の増加(53百万円)、長期借入金の増加(38百万円)、リース債務の増加(37百万円)等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は95億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億32百万円減少いたしました。主な要因は、自己株式の消却に伴う資本剰余金の減少(4億69百万円)、自己株式の増加(2億5百万円)、配当金の支払による利益剰余金の減少(1億27百万円)、第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純損失の計上(78百万円)等であります。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の60.1%から59.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成28年5月16日に公表いたしました連結業績予想と変更はございません。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,027,616	6,635,530
受取手形及び売掛金	4,856,147	3,584,842
有価証券	930,675	501,000
商品及び製品	382,860	314,961
仕掛品	317,236	782,360
繰延税金資産	220,107	182,629
その他	193,039	278,442
貸倒引当金	△2,351	△2,191
流動資産合計	13,925,331	12,277,574
固定資産		
有形固定資産	270,708	314,232
無形固定資産	300,921	470,361
投資その他の資産		
投資有価証券	965,861	1,117,611
繰延税金資産	921,935	918,187
差入保証金	254,071	245,624
その他	654,072	669,644
貸倒引当金	△64,481	△65,622
投資その他の資産合計	2,731,460	2,885,445
固定資産合計	3,303,090	3,670,039
資産合計	17,228,422	15,947,614

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	566,719	528,727
短期借入金	—	57,500
1年内返済予定の長期借入金	743,680	408,312
リース債務	58,494	70,243
未払金	1,206,648	1,069,520
未払法人税等	110,891	63,071
賞与引当金	323,312	184,935
受注損失引当金	10,710	60,375
その他	542,457	542,717
流動負債合計	3,562,913	2,985,403
固定負債		
長期借入金	61,700	100,051
リース債務	85,006	122,094
退職給付に係る負債	3,085,610	3,138,944
長期末払金	81,970	81,970
固定負債合計	3,314,286	3,443,059
負債合計	6,877,200	6,428,462
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,775,100	3,775,100
資本剰余金	6,268,882	5,799,356
利益剰余金	561,746	354,907
自己株式	△145,302	△350,464
株主資本合計	10,460,426	9,578,899
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76,515	118,411
為替換算調整勘定	45,674	35,032
退職給付に係る調整累計額	△231,394	△213,191
その他の包括利益累計額合計	△109,204	△59,747
純資産合計	10,351,222	9,519,151
負債純資産合計	17,228,422	15,947,614

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	13,285,391	12,988,079
売上原価	10,416,983	10,154,420
売上総利益	2,868,407	2,833,658
販売費及び一般管理費	3,078,783	3,005,187
営業損失(△)	△210,375	△171,528
営業外収益		
受取利息	9,090	2,859
受取配当金	16,982	13,750
有価証券評価益	—	70,350
投資有価証券償還益	19,600	—
投資有価証券評価益	11,050	—
保険解約返戻金	—	20,008
その他	7,813	15,589
営業外収益合計	64,536	122,557
営業外費用		
支払利息	12,151	7,169
投資有価証券評価損	—	4,157
その他	195	103
営業外費用合計	12,347	11,430
経常損失(△)	△158,185	△60,401
税金等調整前四半期純損失(△)	△158,185	△60,401
法人税、住民税及び事業税	38,240	3,270
法人税等調整額	38,478	15,223
法人税等合計	76,719	18,494
四半期純損失(△)	△234,905	△78,896
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△234,905	△78,896

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純損失(△)	△234,905	△78,896
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,935	41,895
為替換算調整勘定	△3,429	△10,641
退職給付に係る調整額	△276	18,202
その他の包括利益合計	41,228	49,456
四半期包括利益	△193,676	△29,439
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△193,676	△29,439
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年11月8日開催の取締役会決議に基づき、平成28年11月30日付で、自己株式1,815,104株の消却を実施しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金及び自己株式がそれぞれ468,696千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループはソフトウェア開発を中心とするコンピュータ関連総合会社で、コンピュータ関連機器販売及びソフトウェア開発の両面を事業分野としております。

顧客の利用目的に応じたコンピュータ機器の選定とソフトウェア開発を主とするITサービスを事業内容としており不可分の営業形態の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。